

※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※
※※※※※※※※※※※※※※※※

2023年度 事業報告

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の事業概況についてご報告いたします。

[1] 芸術文化や厚生福祉等に対する助成（公益目的事業 1）

(1) 厚生文化事業金銭助成

金銭助成は、上半期と下半期を合わせて21件の申請を受け付けました。

上半期には、私設図書館「つむぎ」他4団体に82万4千円の助成を行いました。同様に下半期は、朝倉夜間中学校他7団体に153万円の助成をおこないました。

結果、助成件数は前年比2件増、助成金額は7万6千円減となりました。

上半期：高知新聞 2023年3月30日付に掲載

下半期：高知新聞 2023年9月28日付に掲載

(2) 名義助成

「四国フィルハーモニー管弦楽団＜高知県文化賞受賞記念演奏会＞」（2024年3月24日開催）に名義助成を行いました。

[2] 地方史の調査・研究に対する賞の贈呈（公益目的事業 2）

(1) 平尾学術奨励賞の贈呈

第44回平尾学術奨励賞は「該当なし」として授賞を見送りました。

高知新聞 2023年5月17日付に掲載

[3] 新進音楽家の顕彰及び音楽賞の贈呈（公益目的事業 3）

(1) 高知音楽コンクールの開催

下八川圭祐記念 第47回高知音楽コンクールは11月3日、高知県民文化ホールで行われ、各賞を選出、賞状・副賞を送りました。

出場者は17人（一般・大学生10人、高校生7人）で、参加者数は前年度比6人減となっております。

高知新聞 2023年11月4日付に掲載

(2) 「交流の響き」への派遣

前年度上位入賞者を派遣している「交流の響き2023」（神奈川新聞など主催/高知新聞社共催）が9月17日に開催され、第46回コンクールで下八川賞2位を受賞したバイオリン奏者の徳弘悟司さんが出場しました。

高知新聞 2023年9月19日付に掲載

[4] 災害時における義援金の取扱い（公益目的事業 4）

(1) 災害時における義援金の取扱い

1月1日に発生した能登半島地震の被災者支援義援金を同月29日より3月29日まで受け付けし、取りまとめた寄附金総額3577万9319円を4月15日に日本赤十字社高知県支部に送金しました。

高知新聞 2024年1月28日付、2024年4月17日付に掲載

[5] 記念事業の実施（公益目的事業 5）

周年等記念にあたる公益目的事業はなく行いませんでした。

[6] 各賞の受賞者等のための食事会の開催（その他の事業 1）

- (1) 平尾学術奨励賞（公益目的事業 2）においては該当者なしのため開催しませんでした。
- (2) 高知音楽コンクール（公益目的事業 3）においては、11月3日コンクール終了後に開催しました。

[7] 公益信託に関する業務の委託（その他の事業 2）

- (1) 「高知新聞・高知放送」『生命（いのち）の基金』（以下、「生命の基金」）寄付金受入に関する業務

現金持参による寄付金受入は12件（うち個人1件、団体11件）、

振込による受入は5件（うち個人2件、団体3件）ありました。

寄付金総額は、708万4199円（内訳は個人52万円、団体656万4199円）です。

前年に比べて、受入数は1件減、寄付総額では319万9238円増となっております。

- (2) 補助業務

助成応募を告知する記事を作成し、6月27日と10月12日の2回、高知新聞紙上に掲載しました。また、助成を決定する記事は、3月23日に掲載しました。

「生命基金」助成する諮問委員会を1月18日、それを確定する運営委員会を2月15日に開催し、それぞれの会議に専務理事が出席しました。

3月27日に助成金贈呈式を実施しました。本年度の会場の高知県民文化ホール（第6多目的室）の設営、受付業務や贈呈補助など行いました。

2023年度 事業報告付属明細書

[1]芸術文化や厚生福祉等に対する助成（公益目的事業 1）

(1)厚生文化事業金銭助成

〈上半期〉

申請件数:9件

◇ 事業を実施した団体

| 件名 | 団体名 | 助成金額 |
|--------------------------------|-----------------|----------|
| コミュニティー新聞発刊 | 私設図書館 「つむぎ」 | 79,000円 |
| 中村交響楽団 第90回定期演奏会 | 中村交響楽団 | 160,000円 |
| アーリーバードプラスプログラム | TOMOはうす | 185,000円 |
| 保育・幼稚園、小学校出前環境 教育、野外自然体験学習 | 土佐市文化協会 | 200,000円 |
| 1.子ども食堂貸し出し図書 2.夜間中学生への応援弁当 | ふなつきばの 子ども食堂 | 200,000円 |
| | 合計 | 824,000円 |

私設図書館「つむぎ」

地域の魅力 新聞で発信



図書館「つむぎ」の活動の様子について話し合う
同書庫員田島善人（中央）と中野（右）の両氏

高知新聞の「つむぎ」は、地域の魅力を発信し、読者の関心を高めることを目指している。新聞の魅力を伝えるために、読者の関心を高めるための取り組みを行っている。読者の関心を高めるための取り組みを行っている。読者の関心を高めるための取り組みを行っている。

中村交響楽団

市民に生の音楽届ける



7月の定期演奏会に向けて練習する楽団メンバー
(百万十市・中村俊明)

中村交響楽団は、市民に生の音楽を届けることを目指している。楽団の活動を通じて、市民の音楽への関心を高め、地域の文化を盛り上げることを目指している。楽団の活動を通じて、市民の音楽への関心を高め、地域の文化を盛り上げることを目指している。



自閉症児の家族を支える

自閉症児の家族を支えるための取り組みが行われている。家族の負担を軽減し、子どもが安心して生活できるようにサポートを提供している。家族の負担を軽減し、子どもが安心して生活できるようにサポートを提供している。

土佐市文化協会



清流仁淀川で郷土愛を

清流仁淀川で郷土愛を伝えるための取り組みが行われている。地域の魅力を発信し、郷土愛を育てることを目指している。地域の魅力を発信し、郷土愛を育てることを目指している。



貸し出し図書室開設へ

貸し出し図書室の開設に向けて準備が進められている。地域の魅力を発信し、読者の関心を高めることを目指している。地域の魅力を発信し、読者の関心を高めることを目指している。

〈下半期〉

申請件数:12件

◇ 事業を実施した団体

| 件名 | 団体名 | 助成金額 |
|--|---|------------|
| 『朝倉夜間中学校25周年記念誌』 発行事業 | 朝倉夜間中学校 | 300,000円 |
| きょうされん第20回四国ブロック学習交 流集会in高知 | きょうされん 高知支部 | 150,000円 |
| 第64回中・四国保育学生研究大会 (高知大会) | 第64回中・四国保育学 生研究大会 (高知大会) 学生実行委員会 | 250,000円 |
| 紙芝居「ビキニの海のねがい」を読む 紙芝居「ビキニの海のねがい」本制作 | 紙芝居「ビキニの海の ねがい」を本にする会 | 250,000円 |
| 助産師と一緒に親子で学ぶ 「いのちの出前講座」 | 小梅助産院 | 80,000円 |
| 田村利親と土佐の柑橘(みかん)展 | 特定非営利活動法人 地域文化計画 | 200,000円 |
| 「かたしま〜ず・にゅ〜す」冊子化と 星空観察会を通じた「人のつながり復 活プロジェクト 第1弾」 | かたしま〜ず | 150,000円 |
| いしはら音楽祭 | いしはらの里協議会 | 150,000円 |
| | 合計 | 1,530,000円 |

高知新聞厚生文化事業団 2023年度秋の助成8団体

(1 欄目別)

朝倉夜間中学校 学びを支えて四半世紀



不登校の児童生徒から学ぶ朝倉夜間中学校(高知市朝倉町)

きょうされん高知支部 四国の共同作業所交流



2023年9月28日(木)朝倉夜間中学校にて開催された「きょうされん高知支部」の共同作業所交流の様子(高知市朝倉町)。

中・四国保育学生研究大会学生実行委員会 高知の魅力詰め込んで



中・四国保育学生研究大会の準備を進める実行委員会(高知市朝倉町)。

紙芝居「ピノキオの海のはがいを本にする会」 「平和」を考える機会に



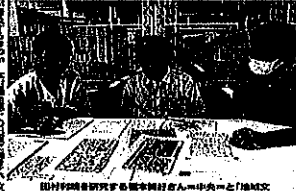
紙芝居「ピノキオの海のはがいを本にする会」のメンバー(高知市朝倉町)。

小橋助産院 親子で学べる性教育を



性教育の普及、親子で学べる性教育を推進する小橋助産院(高知市朝倉町)。

NPO法人「地域文化計画」 もう一人の「らんまん」



地域文化計画を推進するNPO法人「地域文化計画」のメンバー(高知市朝倉町)。

かたしまへず 人つなぐ地域ニュース



地域文化計画を推進するNPO法人「地域文化計画」のメンバー(高知市朝倉町)。

いしはらの里協議会 お寺で最高の生演奏を



いしはらの里協議会(高知市朝倉町)。

2023年(令和5年)9月28日付 高知新聞

厚生文化事業金銭助成

| | |
|--------|--------------|
| | 1993年(H5)年度～ |
| ◇累計件数 | |
| 申請 | 1296件 |
| 助成 | 548件 |
| ◇助成金額 | |
| 厚生文化事業 | 88,633,774円 |
| 高新大賞 | 29,400,000円 |

[2] 地方紙の調査・研究に対する賞の贈呈(公益目的事業 2)

(1) 平尾学術奨励賞の贈呈

2023年(令和5年)5月17日付 高知新聞

平尾賞該当なし
 2年連続
 無名氏による匿名送付の賞状が「該当なし」として送還された。主催の公益財団法人「高知新聞厚生文化事業団」が、昨年度同様、今年も該当者を募集したが、応募者はいなかった。このため、賞状を送付できなかった。関係者は「今年も応募者がいないのは残念だが、賞状を送付できなかったのは残念だ」と話している。

この賞は、高知新聞が、高知市にある「高知新聞厚生文化事業団」が主催する。この賞は、高知新聞が、高知市にある「高知新聞厚生文化事業団」が主催する。この賞は、高知新聞が、高知市にある「高知新聞厚生文化事業団」が主催する。

この賞は、高知新聞が、高知市にある「高知新聞厚生文化事業団」が主催する。この賞は、高知新聞が、高知市にある「高知新聞厚生文化事業団」が主催する。この賞は、高知新聞が、高知市にある「高知新聞厚生文化事業団」が主催する。

[3] 新進音楽家の顕彰及び音楽賞の贈呈(公益目的事業 3)

(1) 高知音楽コンクールの開催

下八川賞 各賞受賞者

| | | | |
|----------------|-------|--------|------------|
| 大賞 | 該当者なし | | |
| 1位 | 該当者なし | | |
| 2位 | 浦田 華奈 | クラリネット | 高知大学4年 |
| | 氏原 大貴 | ピアノ | 小津高校3年 |
| 3位 | 門田 智子 | バイオリン | 愛知県立芸術大学2年 |
| | 杉村 美紀 | ピアノ | 広島大学2年 |
| 高知音楽奨励賞(高校生対象) | 片岡 蒼都 | スネアドラム | 丸の内高校3年 |
| | 山本 花乃 | クラリネット | 中村高校1年 |
| | 荒金 凜音 | チェロ | 高知高専3年 |

下八川賞2位に2人

高知音楽コン浦田さんと氏原さん

1位該当なし

県内在住の出身の新進音楽家が競う「下八川生花記念 第47回高知音楽コンクール」が3日、高知市本町4丁目、県民文化ホールで行われた。下八川賞1位は該当がなく、2位にクラシックの浦田華奈さん(22)と高知大4年、ヒップホップの氏原大貴さん(18)と小津高3年が選ばれた。3位には、小唄の岡田智美さん(20)と愛知県立芸術大2年、ヒップホップの杉本和志さん(20)と広島大2年が選ばれた。



浦田華奈さん



氏原大貴さん

今年も倍賞額が発表され、部門に17人(うち高校生7人)の緊張感が伝わってきた。浦田さんはクラシックの演奏で、音の質感や呼吸感に目を奪われた。岡田さんの曲は、曲の進行で増えた音色や歌声を披露した。全員の演奏が終了した後、昨年2位の田島天和さん(22)がクラシックを演奏。審査員が各部門の審査を行って良かった。目の保養

い、受賞者が発表された。2位の浦田さんはクラシックの演奏、主題と変奏曲を演奏し、風のコントロールがうまく、音色が美しくかったと高評価。クラシックの「七つの幻燈曲」集から「高知曲」第1、7曲などを披露した氏原さんは、若さあふれる演奏で、気持ちよさそうだったと評価された。

浦田さんは昨年は3位。2位でも上に行くのが目標だった。来年から社会人となるため、最後と決めているのが大きいです。結果が出世であれ、氏原さんは大好きなクラシックを演奏し、いい評価を受けたいと願った。

高知生花の対馬の高知音楽奨励賞は、スズドラムの岡田智美さん(20)の内閣3年、クラシックの山本花乃さん(20)高知大生、5人の元音楽家さん(高知高専3年)が決まった。同コンクールは、浦田さんの音楽家、故下八川氏の基金を基に1976年に創設。96年に現在の名称になり、県内音楽家の登壇の場となっている。高知新聞生文化事業団と高知新聞社、RKB高知放送が主催。

2023年(令和5年)11月4日付
高知新聞



バイオリンを演奏する徳弘司さん
（川崎市のニューサンプラザホール）

地方紙音楽コン入賞者公演

徳弘さん高知市バイオリン演奏川崎市

【東京支社】地方新聞社主催

の音楽コンクールの上位入賞者 徳弘さんは6歳からバイオリ

が集う「交流の響き2023」 ンを始め、丸の内高校音楽科、

が17日、川崎市で開かれた。本 桐朋学園大音楽学部で学んだ。

県からバイオリン奏者の徳弘 演奏後、「素晴らしい舞台で演奏

司さん(26)は高知市北本町3丁 できてうれしい。もう一度あの

目川が出演し、美しい音色で約 人の演奏が聴きたい』と思われ

30人の観客を魅了した。 るような音楽家になりたい』と

徳弘さんは昨年の「下八川圭 話した。

祐記念 第46回高知音楽コンク ー」で下八川賞2位(1位候補

当なし)に選ばれた。この日 社と川崎市の主催、高知新聞社

は、サンリサンスの「死の舞 などの共催で19回目。今年も各

階」を演じ、ピアノの伴奏に合 地のコンクールで入賞するなど

わせて独特な世界観を巧みに表 した1人が演奏した。

(浜崎清朗)

[4] 災害時における義援金の取扱い(公益目的事業 4)
 (1) 災害時における義援金の取扱い

能登半島地震災害義援金 あすから受け付け

高知グループは200万円

能登半島地震で被災された方々を支援するため、高知新聞社とRKC高知放送、高知新聞厚生文化事業団は県民の皆様から義援金を受け付けます。ご協力をお願いいたします。これに伴い、高知新聞・高知放送グループは計200万円を贈ります。

義援金は日本赤十字社高知県支部を通じて、被災者に贈られる義援金配分委員会へ全額送られ、被災者の支援に役立てられます。受付期間は1月28日から3月26日まで。物資の取り扱いはありません。

義援金(現金)の受付窓口は、高知新聞本社受付(高知市本町4丁目24、高知電気ビル新館8階)高知新聞厚生文化事業団(高知市本町3丁目33の39、高知放送南館8階)と県内の高知新聞支社、松島、空支局、高知新聞販売所です。

義援金振り込み金融機関口座は
四国銀行高知支店
 普通 51680068

高知銀行本町支店
 普通 3054719

高知信用金庫本店高知本部
 普通 0503181

豊後信用金庫高知支店
 普通 01069077

お手数ですが、振り込みは県内支店に限り、窓口の専用振込用紙でお願います。手数料が無料となります。その際、お名前を紙面に記載することの請いを確認してください。

なお、ATM、インターネットバンキング等による振り込みは手数料がかかる場合があります。また、お名前の紙面記載は必ずしてください。

RKC 高知放送 社
 (公財)高知新聞厚生文化事業団

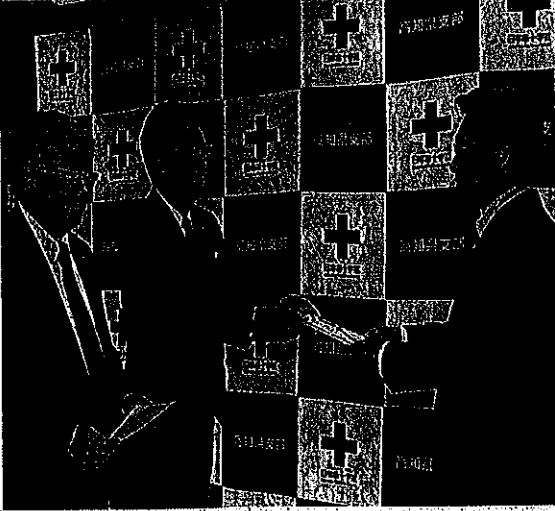
2024年(令和6年)1月28日付 高知新聞

県民の善意3577万円 能登へ

高知新聞・高知放送 日赤に寄託

高知新聞社(由比正雅彦社長)とRKC高知放送(山崎由幸社長)の高知新聞厚生文化事業団は、能登半島地震の被災地支援のため、県民から寄せられた災害義援金を日本赤十字社高知支部に寄託した。最終集計は577万9981.0円に上った。日赤本社を通じて、石川、新潟、富山、福井の被災地へ義援金が届けられる。

義援金は同事業団を窓口として1月28日～3月26日を受け付けた。内訳は個人献金、



義援金を寄託する(左から)山崎由幸、中平雅彦両社長と日赤高知支部の河宗昭一事務局長(高知市丸の内1丁目)の集合写真(センタ)

企業・団体9件、1件当たりの最高額は10万円、2団体と1個人からそれぞれ寄せられた。

中平、山崎両社長が高知市の総合あんしんセンター内の日赤高知支部で「被災された方々にお使いいただきたい」と日赤を贈呈。日赤高知支部の河宗昭一事務局長は「深い関心を持っていただきありがとうございます。被災地の生活支援に活用したい」と感謝を述べた。

(加藤風花)

2024年(令和6年)4月17日付 高知新聞

[7] 公益信託に関する業務の委託(その他の事業 2)
 (2) 補助業務

助成申し込み受け付け

7月3日～10月31日

公益信託高知新聞・高知放送「生命の基金」は、2023年度(令和5年度)の助成申し込みを、県内から広く受け付けます。

難病や重い障害への支援・医療研究、また地域社会の顕著な活動などが対象。選定委員会を経て、来年3月に贈呈します。「生命の基金」の助成は、1000年の発祥以来、多くの患者の人々からの浄財を基に行われています。より多くの方々に助成を行うため、本年度から総額を2千万円に増やしました。多くのご応募をお願いします。

【受付期間】7月3日(月)～10月31日(火) 郵送・当日受付有効

【助成対象期間】2024年4月1日～2025年3月31日

【助成対象者・団体】①高知県内

の大学・専門学校、医療機関、研究機関の研究費、高知県内での助成対象事業のサポートを行う団体

【助成金額】1件あたり100万円(総額2千万円程度)

【申し込み・問い合わせ】高知新聞放送送信の受付にある所定の用紙に資料添えて、三善UP J信託銀行テール受託業務部 〒140001 中野区中野3の36の16、電話0120-632372 また提出(助成金申請書は必ず本年度の様式を使用のこと)

※事業費、助成金申請書は「生命の基金」ホームページ <http://www.lifefund.jp/> からダウンロード可能です。

※助成対象事業、対象活動、成果の報告などは事業費を参照してください。


公益信託高知新聞・高知放送「生命の基金」

2023年(令和5年)6月27日付 高知新聞

28件1616万円助成

生命の基金23年度贈呈式

高知市



高知市は、公益信託高知新聞・高知放送「生命の基金」の助成金を活用し、2023年度(令和5年度)の助成金を贈呈した。

2023年度(令和5年度)の助成金は、28件1616万円に達した。今年2月末日までの申し込みを基に、選定委員会が各団体に自費と助成金を合わせた総額を贈呈した。

贈呈式では、高知市の真良文部科学部長が各団体に自費と助成金を手渡した。真小児科病棟のほみの会の西本由佳奈院長(35)が助成団体代表として、取り組む研究活動や高知市民の安心・安全な生活に貢献していること、高知市が支援していることなどを話した。

高知市は、高知市立小児病棟の設置や、高知市立小児病棟の設置など、高知市が支援していることなどを話した。

高知市は、高知市立小児病棟の設置や、高知市立小児病棟の設置など、高知市が支援していることなどを話した。

式が27日、高知市の真良文部科学部長が各団体に自費と助成金を手渡した。真小児科病棟のほみの会の西本由佳奈院長(35)が助成団体代表として、取り組む研究活動や高知市民の安心・安全な生活に貢献していること、高知市が支援していることなどを話した。

高知市は、高知市立小児病棟の設置や、高知市立小児病棟の設置など、高知市が支援していることなどを話した。

高知市は、高知市立小児病棟の設置や、高知市立小児病棟の設置など、高知市が支援していることなどを話した。

(相良正樹)

2024年(令和6年)3月28日付 高知新聞